

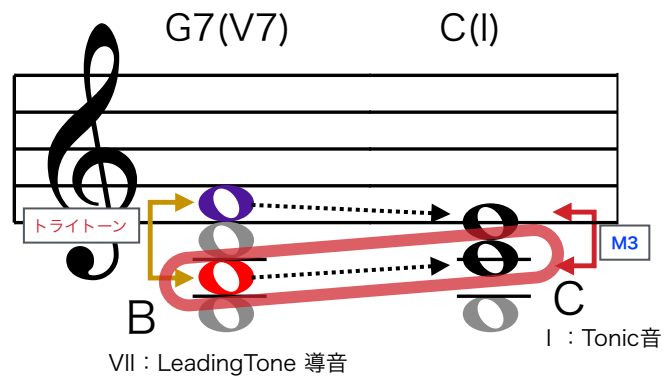
## 第6回 セクション・フレーズ実践②

### LeadingTone(導音)のハーモニック処理

メロディ構築においてはなるべくScottish scale(メジャーペンタトニックスケール= I II III V VI)を使うよう推奨していました。Key of Cにて、Scottish scaleは「C D E G A」となり、「F」と「B」は省かれています。「F」(IVの音)はDiatonic 7th chordにおいて非常にアボイド性が高く、限られた箇所ではしか使えない難しい音です。一方「B」(VIIの音)はDiatonic 7th chordのDm7(IIIm7)のときにゆるいアボイド音となる他は問題ありません。メロディ構築時においては「ある一点」に気をつければ十分に使える音となります。

#### VIIの音=LeadingTone(導音)とは

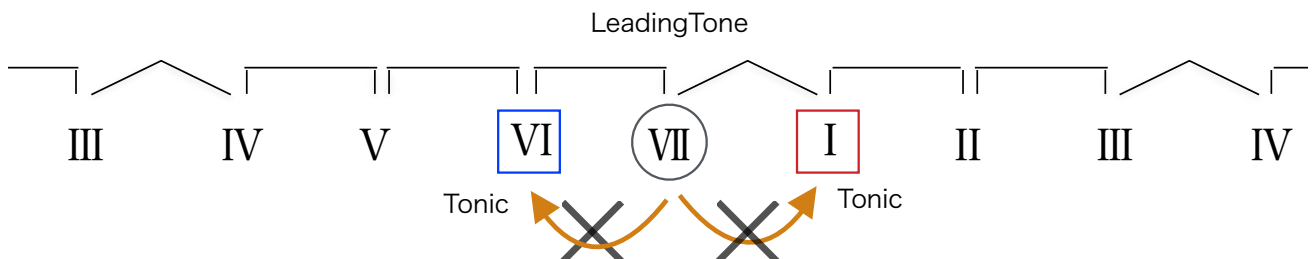
半音上にトニック音であるIの音があるため、トニック音へと導く音という意味でLeadingTone(導音)と呼ばれます。Key of Cにて「B→C」と動くと、特にG7→Cでの中心メカニクス(トライトーン→M3)をなぞる音となり、メロディだけでDominant motionの終止感を生み出します。しかしジャンルや状況によっては決して好ましい響きとはならない場合(ダサイ!)があり、VIIの音を使うときはLeadingToneの性質を打ち消す動きをしたほうが良い結果を生み出しやすくなります。



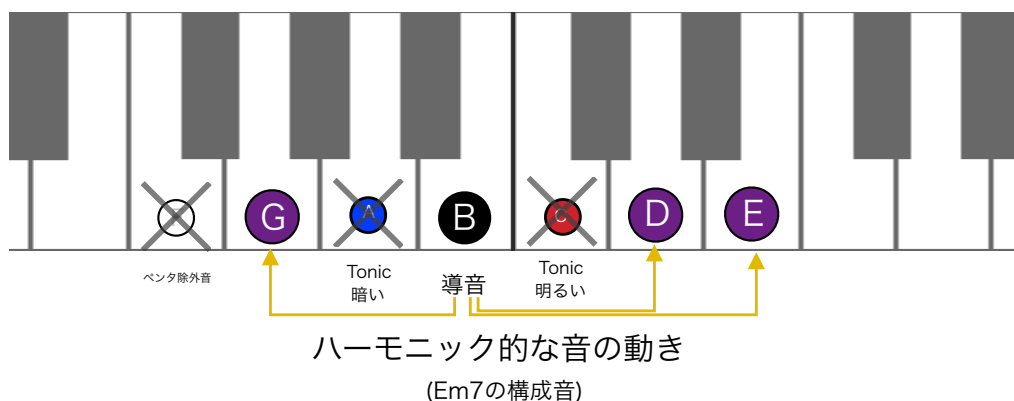
Dominant motionの中心メカニクスをそのままなぞる音となる→ダサイ

#### LeadingTone(導音)からは隣の音へ動くな!

ダサさを回避するには半音上のトニック音であるIの音へ動かなければ良いのです。このダサさの元凶は「Dominant motionを想起させる」音の動きです。すると、全音下のVIの音もトニック音(マイナートニック：暗い)であるために避ける必要があります。となるとVIIから動くべき音は「II III V」となります。



## LeadingTone(導音)は和音を構成する動きを取る！=ハーモニック処理



Key of Cにてお話をすると、LeadingTone(導音) = 「B」は「D」「E」「G」へ動くべき音となります。この集合体は「Em(7)もしくはG」です。特にハーモニックメロディ要素として考えると、Diatonic 7th chordにおいてこの要素を用いることができるのはC△7(I) Em7(III) F△7(IV) G7(6)(V) Am7(VI) BØ7(VII)です。

I III IV V VI VII

C△7 Em7 F△7 G7 G6 Am7 BØ7

## Ex. 導音を使ったメロディ考察

ハーモニック処理

ハーモニック処理

ハーモニック処理

ハーモニック処理

# コードのルートとメロディの関係

## メロディのインターバル解析準備

メロディはコードのルート音との関係で、おおよその響きや印象が決まります。3度堆積の見方でルートを多用するメロディはどっしりとしたストレートな表現になり、5th～テンション方向の音を多分に含むメロディは軽やかに響きが豊かでお洒落感のあるメロディとなります。目指す楽曲のジャンルや雰囲気でもメロディのインターバルをコントロールできることは極めて作曲技法の重要なスキルです。

## メロディの標準型 [3rd↔7thメロ]

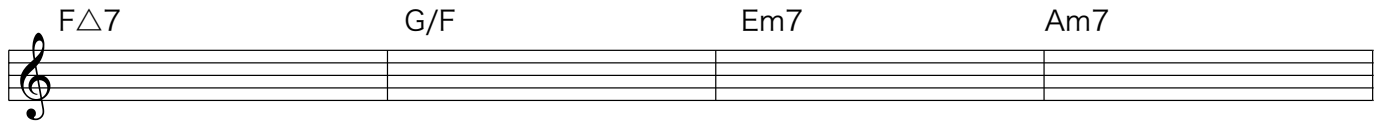
もっとも標準的な響きは「3rd」を中心に据えたメロディです。メロディ構成音を連続させてコードをDominant motion(P4進行)させると「3rd」だった音は「7th」に変化します。また「7th」スタートの場合はDominant motionでとなりに下がれば「3rd」となります。

## Ex. 3rd-7thメロディ参考楽曲

The image shows three staves of musical notation in 4/4 time, illustrating 3rd-7th melodic patterns with various chords. The first staff shows a sequence of chords: Am, Dm7, G, and CΔ7. The second staff shows: FΔ7, Dm7, BΔ7, and E7. The third staff shows: C, FΔ7, BΔ7, E7, Am7, Dm7, G7<sup>sus4</sup>, and G7. The notation includes treble clefs, 4/4 time signatures, and various note values and rests.

## etude4-1

導音を使ったハーモニック処理のメロディ



## etude4-2

3rd-7thメロの練習

